



科学の甲子園神奈川県大会参加 ～チーム・ヨコスカ～



《参加者》

2-1 青木郁也さん
2-1 今村洋介さん
2-1 大川真さん
2-2 沼尻大和さん
2-3 露木太陽さん
2-4 山田芹里菜さん
2-6 小堺雄太さん
(引率:渡辺先生)
←神奈川県立総合
教育センターにて

10月25日、11月8日に「科学の甲子園神奈川県大会」(神奈川県教育委員会主催)が行われ、県内の高校生らが科学の知識と技能を競い合いました。競技方法は知識を問われる“筆記競技”と課題を解決する力を競う“実技競技”の2つからなり、これを1チーム6～8人の生徒で競います。今回、参加者の小堺雄太さんと露木太陽さんにインタビューしました。(11月2日インタビュー)

Q1:事前準備はどうされましたか?⇒過去問を参考にしたり、それぞれの得意分野が解けるように対策・準備しました。
Q2:一日目を終えた感想はどうですか?⇒複合的な問題が多く、難しかったです。Q3:二日目に向けての意気込みをお願いします。⇒最善を尽くして楽しみたいです。

全国大会出場には至らなかったそうですが皆さんの挑戦と健闘に拍手を送りたいと思います。お疲れ様でした!

74期 研修旅行 Hokkaido

10月20日～23日の4日間、2学年の研修旅行が実施されました。1・2日目はクラス別テーマ学習、3日目はラフティングや食文化体験などのアクティビティ、4日目は班別自主行動を行いました。特に2日目の夜は学年全体でクラス別テーマ学習の発表を行い、楽しく真剣に学ぶことができました。写真は7組が外来種のティラピアとウチダザリガニを駆除し、その後ウチダザリガニを実際に食べた様子です。大きな池なのに割り箸の釣り竿とさきいかですぐに釣れたので想像以上に繁殖していると分かり、駆除がいかにか大変であるかを理解しました。また、気になるウチダザリガニは爪の部分が蟹の味、胴体の部分は海老の味と、不思議な味がしました。

【クラス別テーマ学習】

- 1: エゾシカと私たちの生活
- 2: 自然環境の活用と共生
- 3: アイヌ民族の世界観
- 4: 森・里山を守るために木を使う
- 5: 北海道の一次産業の行方
- 6: 大雪山と私たちの水
- 7: 外来種と在来種の関係



↑ 外来種の駆除(7組)



↑ ウチダザリガニの試食(7組)

75期 第一学年研修

10月21日～23日、本校にて英語でのコミュニケーションやSDGsへの見識を深めることを目的とした、一年生対象の研修が行われました。全17個あるSDGsのゴールの中からもっとも重要だと考えるものをグループでひとつ選び、それを達成する方法についてのプレゼンテーションを英語で制作・発表しました。最初は緊張していた私たちでしたが、留学生の皆さんは気さくに話しかけて下さり、英語が未熟な私たちでも楽しく取り組めるよう、工夫をして下さいました。3日間を通して自分たちの未来について、国境を越えて意見を交換する貴重な経験ができ、考えを広げることができたと思います。今年の一学年研修は宿泊しない形にはなったものの、思い出は数えきれず、仲間との絆を築くことができました。



今月の Principia

今回はPrinⅡ特集! 気になる研究機関をチェック!

研究機関等	特定日の活動
電力中央研究所	研究機関訪問
県立金沢文庫	研究機関訪問
防衛大学校	研究機関訪問
国土技術政策総合研究所	実験実施
横須賀テレコムリサーチパーク	校内研究
横須賀市自然・人文博物館	ウミウシのデータ分析
海上港湾空港技術研究所	研究機関訪問
県立保健福祉大学	研究機関訪問
むらせライス	研究機関訪問
横浜国立大学理工学部	実験に向けて研究中
慶應義塾大学SFC	中間発表
校内研究(物理)	各グループ研究中
校内研究(化学)	各グループ研究中
校内研究(生物)	各グループ研究中
校内研究(数理)	各グループ研究中

電子顕微鏡を使ってみよう!

現在、日立ハイテク(株)さんより電子顕微鏡をお借りしています。操作スキルを高校生のうちに習得できるチャンスです! 使用希望者は理科の先生まで。